

## 第 11 回 臨床研修医交流会

と き 令和元年 8 月 24 日 (土) 15:00 ~

8 月 25 日 (日) 9:00 ~

ところ ユウベルホテル松政

[報告:代表世話人/JCHO 下関医療センター副院長 加藤 彰]

令和元年 8 月 24 日 (土)、25 日 (日) の 2 日間わたって、第 11 回臨床研修医交流会が山口市湯田温泉のユウベルホテル松政で開催されました。参加者は研修医 91 名、指導医等 44 名、計 135 名でした。本年は JCHO 下関医療センターが当番幹事を引き受け、研修医 2 年目の河野洋佑 先生が代表幹事、小生が代表世話人を務めました。山口県内の臨床研修病院から 10 名の研修医に幹事として参加していただき、4 月、5 月、6 月と計 3 回の幹事打合会を開催し、準備を進めました。幹事の面々からは昨年の参加経験などに基づいたアイデアが活発に出され、会の構成は順調に出来上がっていきました。

当日は河野先生の総合司会により、県医師会長の河村康明 先生、県健康福祉部長の中野 恵 様の挨拶で始まり、県医師会専務理事の加藤智栄 先生が医師会と山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介をされました。

続いて、特別講演 1 として、静岡県立静岡がんセンター・感染症内科部長の倉井華子 先生から「初期研修医が知っておきたい感染症診療のロジック」と題してご講演をいただきました。つかみの

自己紹介では、自ら蚊や蛭に吸血させる体験など、感染症オタクさを披露されました。また、感染症診療においては、患者背景、感染臓器、原因微生物、抗菌剤の選択、経過観察の 5 点に留意することが重要であることを繰り返し強調されました。

その後、休憩をはさんで、グループワーク「内科救急テンプレートを作ろう！」が、岩国医療センターの井上陽平 先生の司会進行のもと行われました。救急の場でよく遭遇する 12 症状 (意識障害、頭痛、胸痛、腹痛など) が各班 (7 ~ 8 名) に割り振られ、各班は約 1 時間で「診察前準備、診察項目・順序、鑑別疾患、検査項目」をパワーポイントで作成し、発表 4 分、質疑応答 1 分のプレゼンテーションにのぞみました。経験の浅い 1 年目研修医が大半でしたが、2 年目研修医のリードにより、短時間で充実した内容のテンプレート (ひな形) を完成させており、臨床レベルの高さを実感しました。

さて、19 時からは会場をかえて、もう一つのメインイベントである懇親会が開催されました。関門医療センター 2 年目研修医の鈴木有十夢 先生の司会で、県医師会長の河村康明 先生、山口県知事の村岡嗣政 様、山口大学医学部附属病院

長の杉野法広 先生からご挨拶をいただいた後、小生の乾杯で開会いたしました。村岡知事は研修医一人ひとりと熱心に歓談して巡られ、県としての医師獲得にける熱意を示されました。恒例のビンゴ大会では、各参加病院からの豪華景品に大いに盛り上がりました。県医師会副会長の林 弘人 先生から中締めのご挨拶があり、初日の予定を終了しましたが、ビンゴ大会の興奮冷めや



らぬまま、湯田温泉の街に繰出した人たちも多々見られました。

翌 25 日は山口大学医学部附属病院医療人育成センターの前田敏彦 先生の開会挨拶に続いて、特別講演 2 として、洛和会丸太町病院救急・総合診療科部長の上田剛士 先生から「救急でこんなに役立つ高齢者の身体診察」と題してご講演をいただきました。高齢者の尿路感染症診断の難しさ、膀胱サイズや大腿骨頸部骨折の聴性打診法など、明日からの診療にすぐ役立つ、エビデンスに基づいた知見を多く伝授され、研修医のみならず小生も大変勉強になりました。



その後は休憩をはさんで、症例検討会が開催されました。2 年目の研修医 3 名が実際に経験した症例を提示し、皆で活発な討議がなされました。一同の知識の共有が図られたものと思います。

最後に、前日のグループワークにおけるベストプレゼンテーション賞が発表されました。獲得したのは「胸痛」を担当した C 班で、県医師会常任理事の中村 洋 先生がプレゼンター

を務められ、記念品の特製スクラブを着用披露しながら、賞状を授与されました。

最後に、県医師会副会長の今村孝子 先生より閉会のご挨拶をいただき、すべてのプログラムを終了いたしました。

終わりに、今回の交流会の開催にあたり準備段階からご尽力いただいた幹事の研修医の先生方、県医師会の担当理事の先生方や事務局の皆さま、並びに山口大学医学部附属病院医療人育成センターの前田敏彦 先生には大変お世話になりました。誌面をかりて厚くお礼申し上げます。また、本交流会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



## 第 11 回 臨床研修医交流会を終えて

〔報告：代表幹事／JCHO 下関医療センター研修医 河野 洋佑〕

8 月 24 日及び 25 日の 2 日間の日程で令和初めての臨床研修医交流会が山口市のユウベルホテル松政で開催されました。本交流会の主幹病院は JCHO 下関医療センターであり、代表世話人を加藤 彰 先生、代表幹事を私が務めさせていただきました。準備段階から当日の会終了まで、多くの方々にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

まず、事前準備に関しては各病院の幹事及び世

話人の先生方、医師会の方々とともに 3 回にわたって幹事打合会が行われました。私の拙い進行の中、徐々に活発な話し合いが進んでいきました。各役割分担をそれぞれが全うし、時には県医師会の先生方のアドバイスもいただきながら納得のいくまで自分たちのプログラムを考えることができました。

交流会初日ですが、まずは静岡県立静岡がん

センター感染症内科部長の倉井華子先生に「初期研修医が知っておきたい感染症診療のロジック」という題目で講演いただきました。私たち初期研修医が躓くであろう感染症の領域について、非常にわかりやすく教えていただきました。

講演終了後は会場より質問が殺到し、初期研修医にとって非常に勉強になる場となりました。その後は私たち幹事主催で「内科救急テンプレートを作ろう!」という題目でグループワークを行いました。初期研修医にとって共通の話題である当直症例について他病院の研修医と活発な討論が行われ、今後の当直業務に少しでも役に立つのではないかと期待しています。

初日のプログラム終了後は会場を移し、懇親会が開催されました。懇親会では山口県知事の村岡嗣政様にもご臨席いただき、山口県の医療状況について初期研修医と懇談の機会が設けられ、非常に貴重な経験となりました。また、例年開催されている恒例のビンゴ大会で盛り上がりは最高潮になり、お酒が進む中、気が付けば閉会を迎えておりました。景品を提供していただいた各病院の先生方、ご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

交流会 2 日目ですが、まずは洛和会丸太町病院救急・総合診療科部長の上田剛士先生の特別講演で幕を開けました。「救急でこんなに役立つ高齢者の身体診察」という題目で講演いただき、これまた私たち初期研修医にとって非常に興味深い内容で、聞き入っ

ている様子が印象的でした。続いて、私たち幹事主催の症例検討会を行いました。上田先生の講演後で非常に恐れ多いですが、救急症例について今まで学んだ内容を後輩に伝える目的で行い、最後のプログラムとさせていただきます。

最後の閉会式では、初日のグループワークの最優秀賞としてオリジナルのスクラブを景品として渡して閉会とさせていただきます。2 日間に及ぶ交流会でご高名な先生方の私たち研修医だけに向けての講演、研修医同士での知識や経験の共有を通して非常に充実した交流会となりました。本交流会の開催にあたって尽力していただいた山口県医師会の皆様方、各病院の関係者の方々に重ねてお礼申し上げます。これから山口県の医療を支えていくことができるようさらに精進していきたいと思えます。今後とも引き続き温かいご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。



<b>多くの先生方にご加入頂いております!</b>		<small>詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください</small>	
<b>お申し込みは 随時 受付中です</b>	<b>医師賠償責任保険</b>	取扱代理店	山福株式会社 TEL 083-922-2551
	<b>所得補償保険</b>	引受保険会社	損害保険ジャパン 日本興亜株式会社 山口支店法人支社 TEL 083-924-3005
	<b>団体長期障害所得補償保険</b>		
	<b>傷害保険</b>		
		 <b>損保ジャパン日本興亜</b>	